

令和4年度  
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	06	01	104690	スポーツ大会・合宿誘致推進事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興
	施策	03	大規模スポーツ大会の開催		
目的	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供するため、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を図る。				
対象	はなまきスポーツコンベンションビューロー、花巻市体育協会				
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツコンベンションビューロー負担金 1,850千円</li> <li>○スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金 4,332千円</li> <li>○スポーツ合宿支援事業補助金 448千円</li> <li>○ボート合宿受入環境整備 656千円</li> </ul>				
市民参画の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	○補助・助成
活動指標		単位	区分	R03	R04
1	全国規模のスポーツ大会誘致件数	件	計画	6.00	6.00
			実績	1.00	4.00
2	スポーツ合宿誘致件数	件	計画	6.00	6.00
			実績	1.00	6.00
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	R03	R04
1	大規模スポーツ大会・イベントの入込者数	人	目標	134,000.0	134,000.0
			実績	41,424.00	52,030.00
2	市内での東北大会以上の大会開催数	大会	目標	38.00	38.00
			実績	13.00	17.00
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により通常規模の大会開催数には至らず入込者数は目標を下回ったが、はなまきスポーツコンベンションビューローの誘致活動と徹底した感染対策により、首都圏等県外から一定数の大会誘致や合宿受け入れが実施され、大規模スポーツ大会の開催は昨年度より増加傾向となった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設などの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、交流人口の一層の拡大を図る必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	一般財団法人花巻市体育協会や市内競技団体等で構成するはなまきスポーツコンベンションビューローを核とし、スポーツを通じた交流人口の拡大を図る必要がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	大規模スポーツ大会・イベントやスポーツ合宿の誘致や開催支援を先導しているスポーツコンベンションビューローは、市体育協会に事務局を置き、各競技団体や中央競技団体等との連携により少人数での運営に努めている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	花巻市の地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、一層の交流人口の一層の拡大を図る必要がある。
	受益機会の見直し余地がある	
総合評価	費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
	今年度の振り返り	新型コロナウイルス感染症拡大状況下にあったが、はなまきスポーツコンベンションビューローの誘致活動と徹底した感染対策、コロナ感染者数の減少等により、大規模スポーツ大会の誘致や首都圏からの合宿受け入れを行うことができた。また、コロナ禍での合宿受け入れを想定し、引き続き個人携帯用の消毒液や貸出用ディスペンサーなど感染対策の環境整備を行った。
次年度に向けて	次年度のスポーツ大会や合宿誘致の支援に当たっては、国から新型コロナウイルス感染対策の緩和が示されており、通常規模でのスポーツ大会の開催や合宿の再開が期待されることから、状況の変化を注視しつつ、旅行会社との情報共有や、いわてスポーツコミッションの活動など人的ネットワークを活用し更なる誘致活動を進める。	

令和4年度  
事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	06	02	104740	スポーツ施設環境整備事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04 スポーツの振興		
	施策	03	大規模スポーツ大会の開催				
目的	スポーツ施設の快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会や合宿の開催に備えるため、計画的な施設の改修や整備を行う。						
対象	市民、全国の都道府県代表選手団						
意図	快適な利用環境を整えるとともに、大規模大会等に備える。						
事業概要	<p>○スポーツ施設改修・整備 118,715千円（うち繰越明許費57,079千円）                      【スポーツ振興課 77,696千円】                      花巻球場 屋内練習場改修工事実施設計、矢沢農村運動広場 プール解体工事実施設計、東和体育館 外壁・屋根改修工事実施設計、和田プール 管理棟外壁・屋根改修工事実施設計、総合体育館 中央監視システム更新、鉛温泉スキー場 第1・第2リフト維持整備、北湯口野球場 内野グラウンド等改修整備、ふれあい運動公園防球ネット等設置、毘沙門ドーム自動火災報知器等設置、ハーフマラソンコース公認更新 花巻球場防水改修工事（繰越明許）                      【地域づくり課 39,325千円】                      笹間社会体 改修工事実施設計、湯口社会体改修工事（繰越明許）、湯口社会体床改修工事                      【石鳥谷総合支所 1,694千円】                      大瀬川運動公園プール 解体工事実施設計</p>						
市民参加の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	○委託	
活動指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	施設整備件数	件	計画	8.00	11.00		
			実績	10.00	13.00		
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	R03	R04	R05
1	施設利用者数	人	目標	750,000.0	750,000.0		
			実績	401,453.0	499,194.0		
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
施設整備件数は、目標値以上の実績となり計画的な施設の改修や整備が進められた。施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、前年度に比べ1.5倍近く増えてきており、目標値より低くなっているが、市民等が気軽にスポーツに取り組む環境づくりを進められたと分析している。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	多様化する市民のスポーツニーズに応え、市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている。今後においても、各種大会等の開催に向けて必要な施設整備は必要である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	利用者アンケートを反映させることにより、市民ニーズにマッチした施設整備を図ることによって、市民がよりスポーツを行う機会の増加を図れる。また、大規模大会を開催できる施設を整備することによって、市外からの施設利用者が増加し、交流人口の増大が図られる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	施設の利用状況に応じて必要最小限の整備を行っているが、大規模大会等を誘致できる施設を整備するためには、最大限の施設整備も必要となる。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めるため、市内スポーツ施設の整備や改修を行う必要がある。また、大規模大会等の会場として競技会場の整備費を負担することは適正である
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価	今年度の振り返り	大規模大会・合宿誘致関連施設や地域スポーツの拠点施設を整備し、施設利用環境の向上が図られた。
	次年度に向けて	引き続き、施設の老朽箇所や危険箇所を早期に把握して、利便性及び安全性を確保し、長寿命化を図るために必要な施設整備を計画的に実施する。

令和4年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	06	01	104A50	日本スポーツマスターズ2022岩手大会開	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	04	スポーツの振興
	施策	03	大規模スポーツ大会の開催			
目的	日本スポーツマスターズ2022岩手大会の花巻会場2競技（バレーボール、ソフトボール）の参加者へのサービスと競技会の盛り上げを図るため、市独自の歓迎（おもてなし）を行う。					
対象	マスターズ大会参加者（選手・役員等）、運営スタッフ					
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。					
事業概要	<p>○競技会場おもてなし事業 909千円 会場看板等の設置、会場内お土産等の出店</p> <p>○競技会場環境整備 124千円 トイレ用サニタリーボックスの設置</p>					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	R03	R04	R05
1	おもてなし事業委託数	件	計画		2.00	
			実績		2.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	R03	R04	R05
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
花巻会場における選手団への歓迎（おもてなし）が目的であり成果を求めるものではないため、活動指標のみとするもの。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	日本スポーツマスターズ大会は、シニア世代のスポーツの祭典として令和4年度に岩手県初開催となったもので、当市では4会場で2競技が実施されるものであり、妥当である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	<input type="radio"/> 見直し余地がない	市民への普及・意識付けができる有効性の高い事業である。
	<input type="radio"/> 妥当でない	
	成果の向上余地	
効率性	<input type="radio"/> 向上余地がある	当市会場における選手団へのおもてなしとして、看板設置と出店業務の2種類のみを行うものであり、削減の余地はない。
	<input type="radio"/> 向上余地がない	
	事業費・人件費の削減余地	
公平性	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	市民のスポーツに対する関心と意欲を高めるために即効性があり、地域社会全体でスポーツ推進に取り組む体制づくりにつなげていくことができる事業である。
	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
総合評価	受益と負担の適正化余地	令和4年度で事業終了
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある	
今年度の振り返り	今年度において岩手県初となる日本スポーツマスターズ2022岩手大会が開催されることとなり、当市ではバレーボール競技とソフトボール競技の会場となった。全国から来花する選手団のおもてなしとして、駅や空港のほか競技会場への看板設置や、地元特産品の出店販売及び観光案内を行った。新型コロナウイルス感染症拡大状況下であったため、入場制限などはあったものの、感染対策を実施し安全安心なおもてなしを実施することができた。	
次年度に向けて		